

ディスクシアキー設計講習会の開催報告

『ディスクシアキーの設計講習会』を開催しました。

■開催主旨

ディスクシアキーの検討に際し、打設可能かと弊社にお問い合わせ頂くことがあります。またディスクシアキーの適用範囲や設計施工指針では判断の難しい点等についてのお問合せが多い事から、設計品質確保の為に講習会を開催しました。

■対象者

ディスクシアキー設計マニュアルを配付させて頂きました設計事務所様、自治体様、施工会社様等でメールアドレスをご登録頂いた方へはメールにてご案内させて頂き、ご登録頂けていない方へは郵送にてご案内させて頂きました。

■開催日程と会場

講習会は下記の4日間で、14時から16時30分迄で開催させて頂きました。また、会場は開発者メンバーである飛島建設株式会社様の会議室を使用させて頂きました。なお、参加費用は無料とさせて頂きました。

5月11日(木)	東京	受講者数	40名	
5月18日(木)	宮城	同	9名	
5月25日(木)	大阪	同	13名	
6月1日(木)	福岡	同	7名	計 69名
				(設計マニュアル配付先は約450名)

■講習内容

- 1) 設計講習
 - ①設計施工指針内容 (おさらい)
 - ②適用範囲外事例
 - ③注意事項
 - ④質疑応答
- 2) 監理上の留意点
- 3) E & C S 他製品紹介
- 4) 意見交換・質疑

■主な質問とその回答

【質問①】梁の側面増し打ちの場合 (図1参照) は適用範囲外ですが、アウトフレーム工法の場合 (図2参照) は、同様の打設方法で適用範囲内となっています。コンクリート強度が低く、ディスクシアキーでしか対応が出来ない場合、同様の打設方法なので使えないのでしょうか？

【回答①】実験により確認出来ないことから現状では適用範囲外とさせて頂いています。

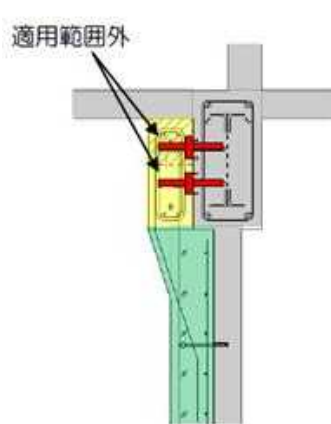


図1. 梁の側面増し打ち

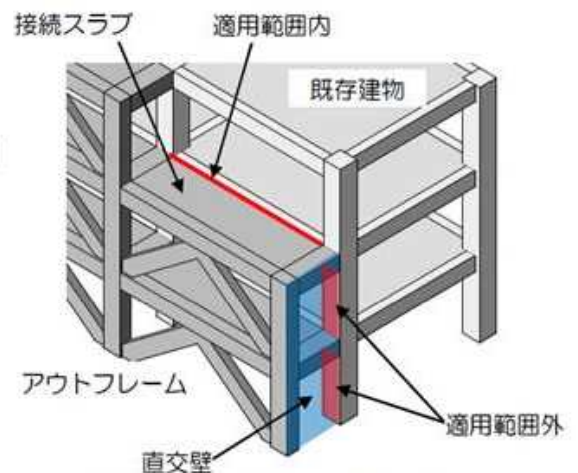


図2. アウトフレームと既存建物の補強部材

【質問②】配付されている設計マニュアルの誤記載が2箇所あること、SRC造の場合のF値の扱いについての記載がありません。

【回答②】ご指摘の点も含め、開発者が設計マニュアルの改訂を現在進めています。各種実験結果を踏まえての改訂となりますので1年以上後の見込みです。

現行の設計マニュアルを用いた設計で支障が生じている点を踏まえ、「正誤表」を配付させて頂きました。講習会に参加されなかった皆様へも送らせて頂きます。

■講習会の様子

5月11日 東京 受講者：40名



E & C S 沼口代表取締役社長 挨拶



5月18日 宮城 受講者：9名



5月25日 大阪 受講者：13名



6月1日 福岡 受講者：7名



設計講習会を終えて

初めての設計講習会開催でしたが、大変有意義な講習会とすることができました。ご参加して頂きました皆様に心よりお礼を申し上げます。

設計をされる皆様の課題や躯体状況への配慮を肌で感じる事が出来ました。また、今回賜りました貴重なご意見を製品の向上に反映させていただきます。

今後につきましては、新たな設計者の参加も考慮させて頂きまして、年に一回程度の設計講習会開催が必要だと考えております。開催の際は改めてご案内させていただきますので、是非ご参加頂けますようお願い申し上げます。